



尼崎双星高等学校図書館

2023年 5月 図書館 利用状況	開館日数	利用者総数 392人	貸出者総数	貸出総冊数 164冊	リクエスト数	
	20日	昼休み	223人	107人	1年	85冊
		放課後	133人		2年	22冊
		その他	36人		3年	23冊
			職員	34冊	9	

👉👉 期末考査前1週間 < 6月26日(月)~6月30日(金) > 図書館は17:30まで延長します。

★★★図書委員会企画★★★ 皆さん！参加してください！！！！

実話怪談 怖～いはなし会

7月7日(金) 11:30 図書館

(期末考査最終日) 語り: 深津さくらさん



深津さくら 京都芸術大学卒。実話怪談をテーマに卒論を発表する。2018年より怪談師として活動を開始。関西を中心にイベント・メディア出演を行っている。YouTubeチャンネル「おばけ座」でも活動中。著書に『怪談びたり』『怪談まみれ』（二見書房）、DVD『怪奇蒐集者 深津さくら』（楽創舎）、共著として『京都怪談 神隠し』『現代怪談 地獄めぐり』（竹書房）がある。
OKOWAチャンピオンシップ2019ベスト4



★★同時開催！★★

雑誌・付録プレゼント

『アニメディア』『スクリーン』『Non-no』『Men's non-no』『Number』『Mr.PC』などの雑誌のバックナンバーや付録を抽選で希望者に差し上げます。

★申し込み日：7月7日放課後

★申し込み場所：図書館

★当選発表：7月12日

★7月7日より夏の特別貸出 はじめます！

★一人10冊まで ★返却日：9月1日 ← 最長57日間 借りれます

★★★★★★★★★★★★★ 新着図書案内 ★★★★★★★★★★★★★★

『成瀬は天下を取りに行く』新潮社

宮島未奈／著



「島崎、わたしはこの夏を西武に捧げようと思う。中2の夏休みの始まりに、幼馴染の成瀬がまた変なことを言い出した。閉店を控える西武大津店に毎日通い、中継に映ると言う。さらにはM-1に挑み、実験のため坊主頭にし、二百歳まで生きると宣言。突き進む成瀬から誰も目を離せない！

『黄色い家』川上未映子／著

中央公論新社



十七歳の夏、親もとを出て「黄色い家」に集った少女たちは、生きていくためにカード犯罪の出し子というシノギに手を染める。危ういバランスで成り立っていた共同生活は、ある女性の死をきっかけに解散…。人はなぜ罪を犯すのか。世界が注目する作家が初めて挑むサスペンス。話題作！

『君のクイズ』朝日新聞出版

小川哲／著 唯一無二の<クイズ小説>



が誕生した。生放送のTV番組『Q-1グランプリ』決勝戦に出場したクイズプレイヤーの三島玲央は、対戦相手・本庄絆が、まだ一文字も問題が読まれぬうちに回答し正解し、優勝を果たす。いったい彼はなぜ、正答できたのか。決勝戦を1問ずつ振り返る三島はやがて自らの記憶も振り起こす。

『スラムダンク奨学生インタビュー その先の世界へ』宮地 陽子／著



『SLAM DUNK』の作者が「バスケットボールというスポーツに恩返ししたい」という志から始まったスラムダンク奨学金。大好きなバスケットボールで夢をつかむために海を渡ったスラムダンク奨学生14人の挑戦の物語。その経験談には様々な苦悩、葛藤、そして、挑戦した者にしか味わうことのできない喜びが溢れていた

『宙(そら)ごはん』小学館

町田そのこ／著



花野への不満を溜め、堪えられなくなって、宙は家を飛び出した。どこまでも温かくやさしい希望の物語。

『爆弾』講談社

呉 勝浩／著



無差別爆破テロ。動機も目的もわからない。爆弾の在り処の手がかりは、容疑者と思いき中年男が出す「クイズ」のみ。限られたヒントしかない状況で、警察は爆発を止めることができるのか。狭小な取調室の中で、最悪な男との戦いが始まる。

『光のところにいてね』 文藝春秋

一穂 ミチ/著



彼女と私は、なにもかもが違った。着るものも食べるものも住む世界も。でもなぜか、彼女が笑うと、私も笑顔になれた。彼女が泣くと、私も悲しくなった。ずっと一緒にはいられないと分かっているが、一瞬の幸せが、永遠となることを祈った。ひとつの愛に惹く二人の、四半世紀の物語

『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』 スターツ出版



親や学校、すべてにイライラした毎日を送る中2の百合。母親とケンカをして家を飛び出し、目をさますとそこは70年前、戦時中の日本だった。偶然通りかかった彰に助けられ、百合は彰の誠実さと優しさに惹かれていく。しかし、彼は特攻隊員で、ほどなく命を懸けて戦地に飛び立つ運命だった。

『街とその不確かな壁』 新潮社



その街に行かなくてはならない。なにがあるかと。――古い夢が奥まった書庫でひもとかれ、呼び覚まされるように、封印された“物語”が深く静かに動きだす。高い壁と望楼、図書館の暗闇、古い夢、そして、きみの面影。魂を揺さぶる純度100パーセント小説。

『いつか君が運命の人』 集英社



「自分なんかじゃ絶対に無理だ」と思っていた片想いの相手と、運命の赤い糸で結ばれたいと願いつづけたら。つれない恋人との関係に不安を抱いていたところ、指輪の力で相手が運命の人ではないことを知ってしまう。など、「奇跡の指輪」をめぐる6つの恋物語。

『中高生の悩みが軽くなるヒント集めました。』 集英社



河出書房新社 「やる気が出ない」「成績が上がらない」「人と比べてしまう」「将来が不安」……勉強から人間関係、進路まで、大人気教育YouTuberの葉一先生が10代の悩みにとことん応えます。

『体はゆく:テクノロジー×身体』 伊藤 亜紗/著



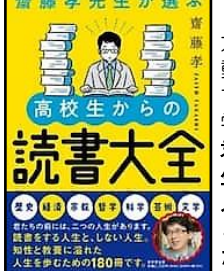
「できなかったことができる」って何だろう？技能習得のメカニズムからリハビリへの応用まで一先端テクノロジーが見せる体の“奔放な”可能性を追う。日々、未知へとジャンプする“体の冒険”！

『危機の時代に読み解く「風の谷のナウシカ」』 著



コロナウイルス、ウクライナ侵攻、AI問題、気候変動…混乱する現代社会を私たちはどう生きるのか。今の日本を生きる識者が導くこれからを生き抜く18の羅針盤。

『高校生からの読書大全』 齋藤孝/著



東京堂出版 大の読書家の齋藤先生が感動の本を厳選して紹介します。歴史、経済、宗教、哲学、科学、芸術、文学、君たちの前には、二つの人生があります。読書をする人生と、しない人生。知性と教養に溢れた人生を歩むための180冊です。

『君たちが生き延びるために 高校生との22の対話』 筑摩書房



天童荒太/著 幸せになるには、自分を大事にして生きることが大前提。では「自分を大事にして」とはどんなことか？高校生との実際の対話を糸口にして、今を生きる若い人に贈る渾身のメッセージ。

『ファンタジーな生物学』 小林牧人/著



「生物学は暗記科目だから好きになれない」という人のために、生物学の面白さを味わってもらおうと考えて書かれた生物学になじむための参考書

『絶滅してない！』 宗像 充/著



二ホンオオカミ、二ホンカワウソ、九州のツキノワグマ・・・今も飛び出す絶滅動物たちの目撃情報。いったい絶滅ってなんだ？探してないだけじゃないのか？「見ようとしていない人には絶対に見ることができない、それがまぼろしの動物だ！」

『新種発見！見つけて調べて名付ける方法』 馬場友希/編集



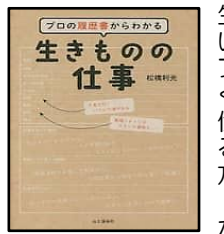
山と溪谷社 新種ってどこで見つけるの？どうやって名前をつけるの？なぜ生きものを分類するのか？19の新種発見のエピソードで、生物の分類の基本がわかる！

『宇宙飛行士 夢の仕事場』 朝日新聞出版



宇宙船やISSの仕組み、ロケットの打ち上げ手順、宇宙飛行士になる試験など、宇宙をめざすキミが最初に読むべき解説書。

『プロの履歴書からわかる生きもの仕事』 松橋利光/著



生きもの仕事につきたい人、必見。80人のプロの履歴書を読み解くことで、「生きもの仕事とは？」が見えてくる！ やりがい・なり方・楽しさ・苦労 「好き」を仕事した人から学ぶ

『20歳の自分に教えたい 日本国憲法の教室』 齋藤 孝/著



政治と宗教をめぐる問題、不透明な世界情勢、核戦争の驚異、価値観の多様化。改憲論議で注目される憲法は、もちろん、「私たち個人がどう生きるか」といった問題にも深く関わっている。

『世界で最も美しい蝶は何か』 海野和男/写真・文



世界三大美蝶（モルフォ、アグリラス“ミイロタテハ”、トリバナアゲハ）など世界のマニアが長年追い求めた熱帯の大型美蝶を、昆虫写真の第一人者が写真と文で解説。

ときめく貝殻図鑑



ときめくきのこ図鑑



ときめく鉱物図鑑



ときめくコケ図鑑



ときめく小鳥図鑑

